

地理空間学会ニューズレター

第2号

JAGS

Japan Association on Geographical Space

発行日 ● 2008年7月9日

発行 ● 地理空間学会事務局

■ 第1回大会が開催されました ■

6月21日(土)、22日(日)に、筑波大学筑波キャンパス第一エリアにおいて、地理空間学会の第1回大会が開催されました。

当日は評議会の後、下記の研究発表が行われ、活発な議論が展開されました。

佐藤慎吾(筑波大・院)「後援会の戦略的空間編成一衆議院富山県第三区を事例として一」

清水克志(文教大・非)「江戸・東京への鮮魚供給漁村の展開とその後の変容一三浦半島松輪集落の歴史地理的考察一」

中嶋則夫(茨城県立竹園高)「高等学校における歴史地理的な見方考え方の指導に関する考察」

小林岳人(千葉県立沼南高柳高)「地理教育の情報化についての具体例」

鈴木富之(筑波大・院)「東京都山谷地域における外国人旅行客およびビジネス客向け宿泊施設の展開過程と利用者特性」

松井圭介(筑波大)「巡礼創造のダイナミズムとツーリズムの課題」

山本 充(埼玉大)「ドイツ、ライン・ネッカー大都市圏農村における人口変動」

講演会では、溝尾良隆先生(城西国際大学観光学部・教授)をお迎えし、「美しい風景の創造と観光まちづくり」の題目で、ご講演いただきました。総会終了後、大学会館レストラン PLAZA において懇親会が開催されました。

巡検について、オーガナイザーを務めた淡野寧彦会員より、下記のコメントが寄せられています。

22日の巡検には、雨模様のなかにもかかわらず、定員である30名の方々にお集まりいただきました。巡検では、つくば市内を主にバスで移動しながら、筑波研究学園都市の過去・現在(さらには未来も?)を観察できる場所を訪れ、地域の変容を観察しました。研究学園都市を象徴するともいえる研究施設の見学では、様々な宇宙技術の開発現場を目にし、つくばエクスプレス沿線地域では大規模な開発が進展している状況を確認しました。一方で、研究学園都市以前から存在する旧集落などもその姿をとどめており、新旧の土地利用が織り交ざった景観を随所に見ることができました。

初回ということもあり、何かといたらない点も多い巡検であったと思われませんが、参加者の皆様のおかげで、最後まで無事に巡検を終えることができました。ご参加いただいた皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。来年度以降の巡検にも、多くの方々にふるってご参加いただけることを願っております。

来年度の大会も6月に開催予定です。例会も含めまして、皆様のご参加をお待ちしております。

■ 総会報告 ■

日 時：2008年6月21日（土）17：20～18：00

場 所：筑波大学第一エリア 1D201 教室

参加者：33名

地理空間学会 2008 年度総会は、2008 年 6 月 21 日（土）17：20～18：00、筑波大学第一エリア 1D201 教室にて開催された。山下清海常任委員長の開会の辞、菅野峰明会長の挨拶があった。次に矢ヶ崎典隆会員を議長に選出し、兼子 純会員に書記を委嘱した。

①会務報告（山下常任委員長）

・会員数について報告があった。

6月20日現在 203名（一般会員：145名 大学院生会員：39名 学生会員：19名）

・3月28日に、茗溪会館において設立総会が開催されたことが報告された（出席者81名）。

・ホームページ・メーリングリストを開設し、ニューズレター（第1号）を発行したことが報告された。

・5月10日に、筑波大学東京キャンパスで第1回例会を開催したことが報告された（出席者26名）。

1) 井口 梓（筑波大学大学院生命環境科学研究科地球環境科学専攻・院生）：

野菜生産地域における女性農業者の果たす役割—磐田市旧豊田町のチンゲンサイ農家を事例に—

2) 中西僚太郎（筑波大学大学院人文社会科学研究科歴史・人類学専攻）：

明治・大正期の鳥瞰図に描かれた松島

・6月20日に、機関誌「地理空間」（第1巻1号）が刊行されたことが報告された。

②2008年度事業計画（山下常任委員長）

2008年度事業計画について、ニューズレターの発行、ホームページ・メーリングリストの管理・運営、例会の開催、次期大会の開催準備、「地理空間」第1巻2号の刊行、学会賞創設を検討することが提案された。「地理空間」の投稿規定について、今後ホームページ、ニューズレター、雑誌等で周知するよう依頼がなされ、2008年度事業計画は承認された。

③ページ超過料金の改正について（仁平会計委員長）

「地理空間」のページ超過料金について、現行の1ページあたり3,000円から、12ページまで無料、以降1ページあたり10,000円に投稿規定を改正する提案がなされた。カラーページの超過料金を明記するよう依頼がなされ、今後編集委員会で検討することが確認された。ページ超過料金の改正案は、異議なく承認された。

④地理空間学会学術基金（仮）の募集について（仁平会計委員長）

今後の学会財務状況を鑑み、学術基金を創設して寄付金を募集する旨の提案がなされた。賛助会員を募ること、出版社に対する広告費の依頼について意見が出された他、会員増の方策を検討するよう要望がなされた。地理空間学会学術基金（仮）の創設と募集は、異議なく承認された。

⑤2008年度予算案（仁平会計委員長）

2008年度予算案について、収入と支出に関する説明がなされた。各項目の内訳について、調整するよう依頼がなされ、2008年度予算案は異議なく承認された。

⑥2008～2009 年度役員案（山下常任委員長）

2008～2009 年度役員案について、役員案および任期に関する原案が提示され、異議なく承認された。

⑦その他

- ・会員名簿の作成について提案がなされ、今後作成して配布することが承認された。
- ・「地理空間」について、学術刊行物の指定を受けることへの提案がなされた。

以上で議事を終了して、議長による書記の解任と議長の解任が行われた後、山下常任委員長の閉会の辞をもって、地理空間学会2008年度総会は終了した。

■ 第 2 回例会のご案内 ■

地理空間学会では、第 2 回例会を下記の通り開催します。

◇日 時：2008 年 10 月 18 日（土）

◇会 場：立教大学池袋キャンパス

◇発表者および演題

杜 国慶（立教大学）：「アメリカ西海岸の都市観光」（仮）

他 1 名を予定。

※時間、詳細な場所については次回の情報でお知らせいたします。

■ 編集委員会からのお知らせ ■

「地理空間」創刊号（第 1 巻第 1 号）を、6 月 20 日に発行しました。大会に出席されなかった会員の方には、近日中に郵送いたします。第 1 号第 2 巻は、12 月 20 日の発行を予定しております。第 1 巻第 2 号の原稿については 8 月末まで、それ以降の原稿につきましても随時受け付けております。

2008 年度総会において投稿規程が改正されました。現行の 1 ページあたり 3,000 円から、12 ページまで無料、以降 1 ページあたり 10,000 円に変更されました。原稿の種別にかかわらず、ページ制限を撤廃しました。また、論説、調査報告、展望ともにボリュームのあるものを書けるようになりました。内容は最新の論争から時事性、トピック性の高いテーマ、丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く受け付けております。会員皆様の活発な寄稿をお待ちしております。投稿規程や執筆要綱につきましては、本会 HP をご覧ください。投稿規定・執筆要綱は、第 1 巻第 2 号にも掲載する予定です。

本学会の活動を幅広く認知してもらうために、会員の皆様の大学研究室や大学・高校の図書館におきまして、会誌『地理空間』の定期購読を是非ご検討のほどお願いいたします。ご購入いただける場合には、編集委員会（geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp）までお知らせください。

■ 会計委員会から会費納入について ■

地理空間学会の 2008 年度会費について、大会開催時に支払われていない会員の皆様には、機関誌「地理空間」に同封する振込用紙にて、7 月 31 日（木）までに会費を納入していただけるようお願い申し上げます。

■ 学会メーリングリスト (jags-ml) 管理人からのお知らせ ■

1. メールの届かない会員がいらっしゃいます。

登録されたアドレスが違うため、メールで学会情報をお届けできない会員が数名いらっしゃいます。

最新の配信メールは「(jags-ml:020) 『地理空間 1-1』の送付について」(6月25日配信)でした。

jags-ml からのメールが受け取れなくなったときには、その旨を、jags-ml-admin@geoenv.tsukuba.ac.jp へメールで至急お知らせください。この特別なメールアドレスには、登録していないアドレスからでもメールを出せます。

2. メールアドレスの変更をお知らせください。

配信されたいメールアドレスの変更がある際には、お早めに jags-ml-admin@geoenv.tsukuba.ac.jp へお知らせ下さい。またはご自分でコマンドメールにより変更してください。jags-ml-ctl@geoenv.tsukuba.ac.jp へ、本文に「help」とだけ書いたメールを出すと、コマンドメールの操作マニュアルが折り返し届きますのでそれに従ってください。

■ 学会名簿の確認について ■

会員相互の情報交換や新規会員の勧誘を目的として、学会名簿の作成を進めております。情報の開示について、公開の有無を再度確認したく思います。別途ご案内を差し上げますので、公開状況をご確認ください。変更のある場合には、7月31日(木)までに下記宛にご連絡ください。

地理空間学会事務局 名簿作成係 jags-jimu@geoenv.tsukuba.ac.jp

■ 事務局だより ■

地理空間学会ニューズレターの第2号をお届けします。第1回例会・大会および巡検の開催、機関誌「地理空間」の発行など、学会活動も本格的にスタートしました。ニューズレターではこうした学会関連情報を掲載していきますので、掲載すべき情報やご要望がございましたら事務局までお寄せください。最新の情報は学会ホームページ (<http://www.geoenv.tsukuba.ac.jp/~jags/index.html>) で随時更新しています。本会では、会員間の情報交換の手段として、メーリングリスト (jags-ml@geoenv.tsukuba.ac.jp) を開設しています。すでに多くの方に参加していただいておりますが、まだ登録されていない方でメールアドレスをお持ちの方は、ぜひご加入いただけますようお願いいたします。

地理空間学会ニューズレター 第2号

発行日●2008年7月9日

□発行

地理空間学会事務局

〒305-8572

茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学大学院地球環境科学専攻内 地理空間学会事務局

TEL/ FAX: 029-853-6873

E-mail: geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp

URL: <http://www.geoenv.tsukuba.ac.jp/~jags/index.html>